

## 第2章 重点整備地区

### 2.1 選定理由

桃山台地区は、桃山台駅の利用者が多く、高齢者の方も多数利用されていること、加えて、周辺住民の方から早急な駅舎のバリアフリー化を望む要望が多いこと等から、重点整備地区に選定されています。

#### (1) 桃山台駅の利用者数

桃山台駅の1日平均乗降客数は、約41,500人で、特定旅客施設の要件である5,000人を超えています。

平成15年(2003年)平均値：北大阪急行調べ

#### (2) 配置要件

桃山台駅は、丘陵地にある良好な住宅地区内に位置しています。

高齢者や身体障害者等がよく利用する施設として、竹見台市民ホールや桃山台市民ホール、良好な住環境の要素の一つである憩いの場になっている桃山公園や竹見公園、二ノ切池公園、つばき公園等があります。

#### (3) 課題要件

桃山台駅の改札階は、地上を通る新御堂筋の側道と、地下を走る新御堂筋の本線の間の狭いスペースに位置するため、駅構外から改札階、ホームへの通路に、垂直移動が多くなっています。しかし、現状では階段と車いす用階段昇降機しかありません。

こういったさまざまな課題を解消するため、バリアフリー化整備を実施する必要があります。

#### (4) 効果要件

豊中市、吹田市が連携して基本構想を策定し、公共交通、歩道、信号等の事業者による一体的なバリアフリー化整備を行うことにより、より効率的、効果的なバリアフリー化をめざします。

#### (5) 緊急性

千里ニュータウンは、まちびらきから40年が経過し、少子・高齢化が進行しています。

また、車いす利用者の移動経路として、駅の東口からホームまでの階段昇降機が整備されていますが、高齢者等にとっては階段しかなく、駅構外から改札口までの長い距離を移動する必要があり、大変利用しにくい駅となっています。そのため、周辺住民から事業者等へ駅舎改修の要望書が提出され、吹田市議会において請願が採択されるなど、早急なバリアフリー化整備が求められています。

## 2.2 位置および区域

### (1) 位置

桃山台地区は、豊中市の東端、吹田市の西端に位置しています。

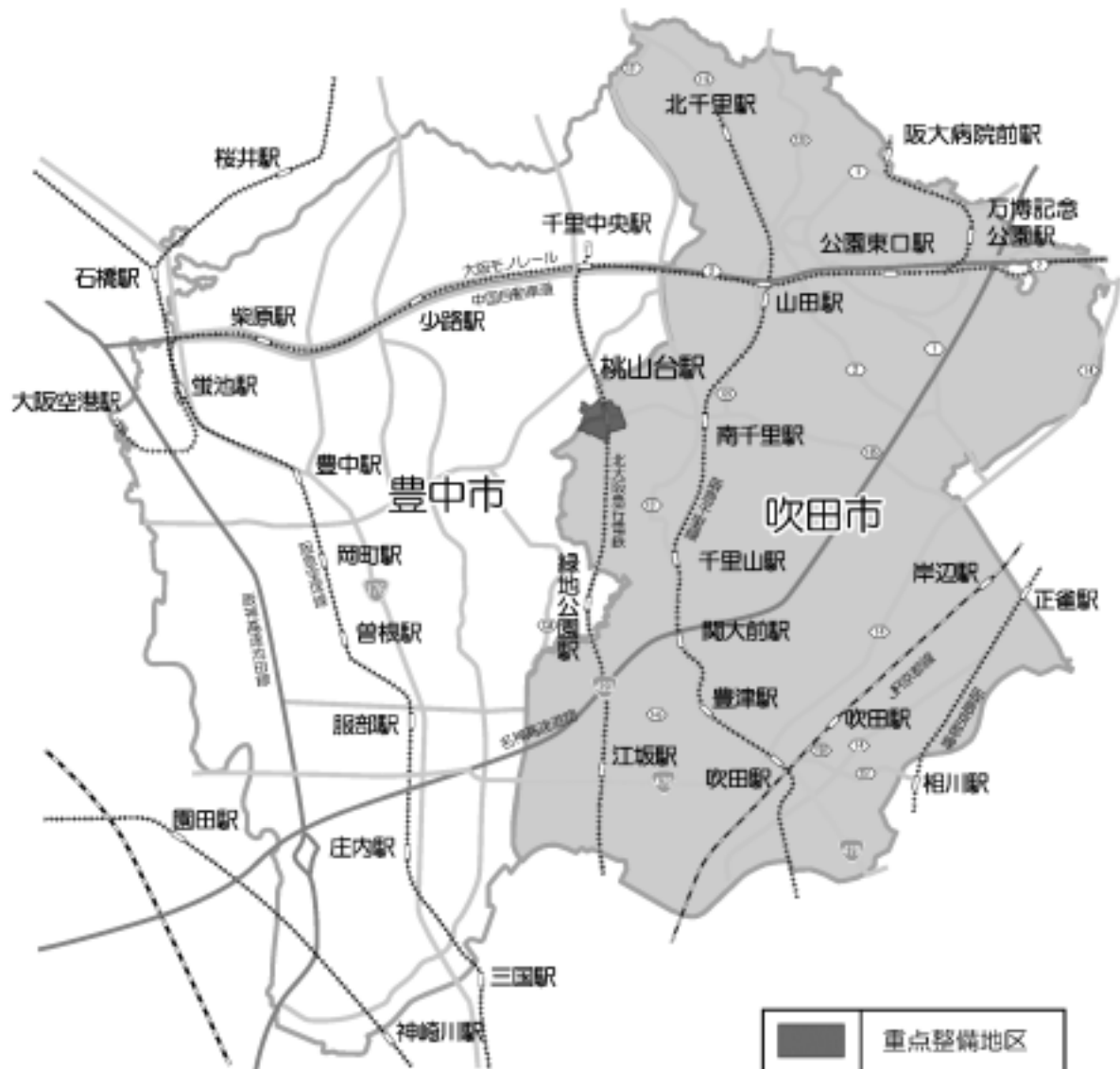


図2-1 桃山台地区位置図

(2) 区域

桃山台地区は、下記の町丁目から構成される区域（約0.94km<sup>2</sup>）とします。

豊中市：新千里南町3丁目、東豊中町5丁目

吹田市：桃山台2丁目、桃山台5丁目、竹見台3丁目、竹見台4丁目

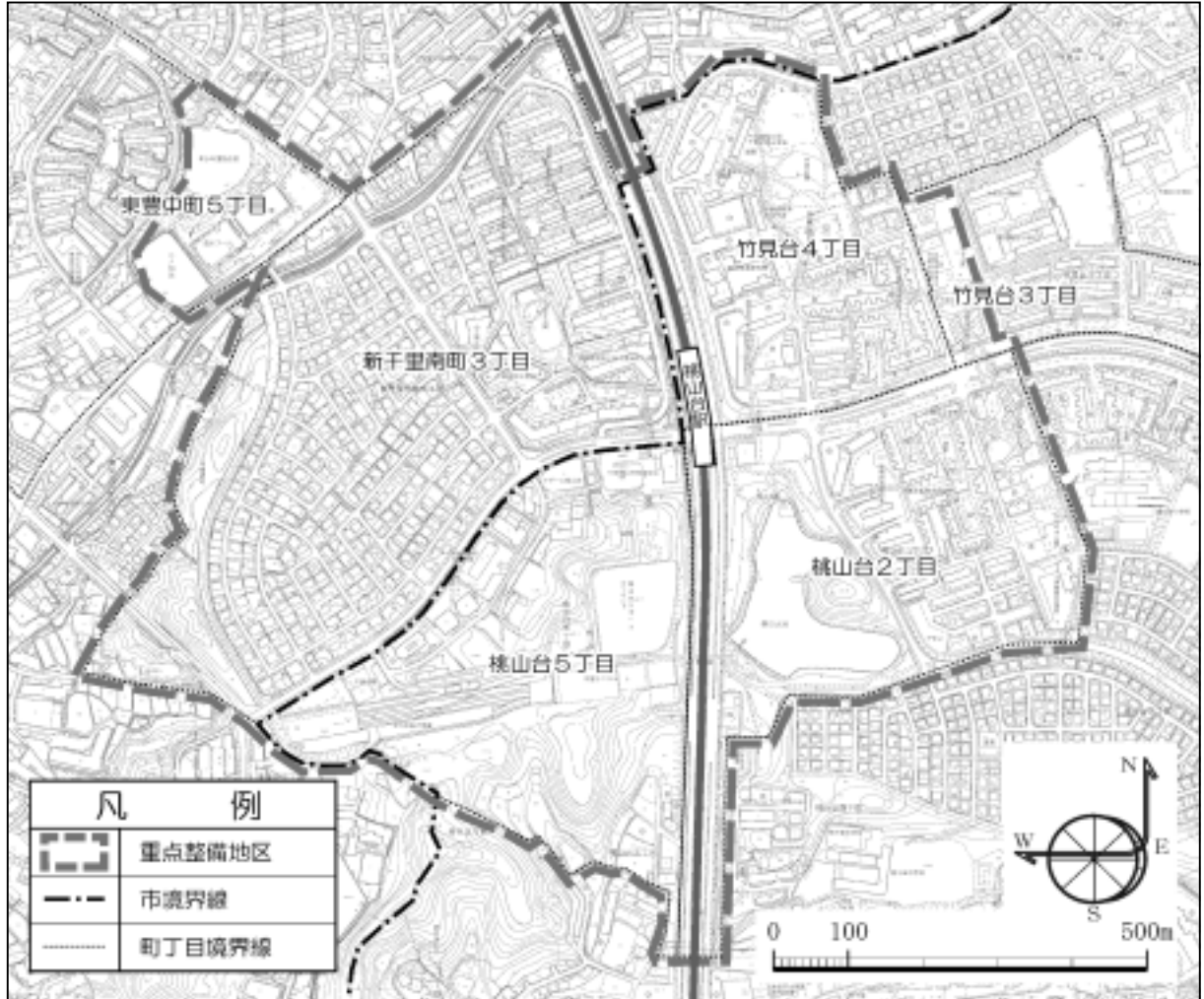


図2-2 区域図